

<b>講義名</b>	日本語資格試験講座 【留学生科目】		
<b>担当教員</b>	山田 勇人		
<b>開講期・曜日・時限</b>	後期 金曜日 2時限	<b>授業形態</b>	演習
<b>履修開始年次</b>	1年生	<b>単位数</b>	2
<b>主題と概要</b>	<p>日本語能力試験N2の受験に向け、N2の文法、文字語彙、聴解、読解に対応できる日本語能力をつけることを目的とする。日本語能力試験N2の問題を解きながら、自分の弱い点を確認したり、新たな知識をインプットし、日本語能力試験N2の合格を目指す。</p>		
<b>到達目標</b>	<p>日本語能力試験N2レベルの文法、文字語彙、聴解、読解の自分野の問題が解けるようになる。併せて、自分の日本語能力の弱点を克服し、日本語能力試験N2に合格できることを目指す。</p>		
<b>提出課題</b>	<p>予習、復習、ワークシート等、授業中にその都度指示する。</p>		
<b>課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック</b>	<p>質問がある場合は、その都度、回答に応じる。</p>		
<b>評価の基準</b>	<p>期末試験（50％） 中間試験（30％） 授業への参加度（20％）</p>		
<b>履修にあたっての注意・助言他</b>	<p>授業では必ず事前に課題を出すので、その課題を行ったうえで授業に臨むこと。  出欠は、毎回とり、全授業回数<math>1/3</math>以上欠席した場合は、単位を認定することができない。</p>		

<b>教科書</b>	.使用しない。			
<b>プリント資料及び参考文献</b>	授業内で資料を配布する。			
<b>授業計画</b>	<p>1 ガイダンス、日本語能力試験N2模擬試験を行い、自分の弱点を知る  2 文字・語彙、文法、読解（対比を含む文章）  3 文字・語彙、文法、聴解（課題理解）  4 文字・語彙、文法、読解（言い換えを含む文章）  5 文字・語彙、文法、読解（ポイント理解）  6 文字・語彙、文法、読解（疑問提示文を含む文章）  7 文字・語彙、文法、聴解（概要理解）  8 中間試験（これまで学習した問題を振り返る）  9 フィードバック、第1回の試験結果と比較する  10 文字・語彙、文法、読解（指示代名詞を含む文章）  11 文字・語彙、文法、聴解（即時応答）  12 文字・語彙、文法、読解（必要な情報を探し出す）  13 文字・語彙、文法、聴解（協同理解）  14 模擬試験を行う 文字・語彙、文法、聴解  15 模擬試験を行う 読解、フィードバック</p>			
<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>	○ ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク		
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク		
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
<b>準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間</b>	<p>学習する文法について、テキストの復習問題をしていくこと...約2時間程度  授業内で解説した箇所を確認し、解答できなかった問題を再度行うこと...約2時間程度</p>			
<b>卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連</b>	<p>留学生を対象とした科目群で、日本語の4技能（聞く、話す、読む、書く）について実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、合わせて日本の社会や文化について学ぶことを目的とする科目である。</p>			
<b>双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述</b>				
<b>実務経験の有無及び活用</b>				
<b>備考</b>				